

幸田町地球温暖化対策実行計画(第2次計画)の進捗状況と改定について

1 実行計画概要

- (1) 根拠法令 地球温暖化対策の推進に関する法律第20条の3
- (2) 計画期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
- (3) 対象範囲 町が行う全ての事務事業。ただし、削減目標非設定施設は、次のとおり。
・ 指定管理者制度施設を除く外部に委託する事務事業や公社・法人等
例えば、社会福祉協議会、シルバー人材センター
- (4) 削減目標 平成24年度温室効果ガス排出量を平成30年度に3.8%削減

5,241 t-CO₂  5,040 t-CO₂

2 平成29年度実施状況

幸田町地球温暖化対策実行計画は、平成21年度に策定された第1次計画については、平成25年度で終了しました。このため、第2次計画では、第1次計画の考えを引き継ぎつつ、期間を平成26年度～平成30年度とし、対象となる施設を拡大、基準年度の平成24年度より3.8%削減を目標とする計画を策定しました。

平成29年度の温室効果ガス排出量は、5,161t-CO₂となり、平成24年度(基準年度)からは、1.5%の削減となったため、平成30年度の目標数値である5,040t-CO₂に2.3%届きませんでした。要因別排出割合で70%以上を占める電気使用量が2.0%減に留まっている事が要因と考えられます。平成30年度に目標を達成するためには、電気使用量の削減が重要なポイントとなってきます。

		基準年度							
温室効果ガス排出量		平成24年度		目標数値		平成29年度			
合計 t-CO ₂		5,241		5,040		5,161		要因別 構成比	
(対H24年度比)		(100.0%)		(96.2%)		(98.5%)			
排出要因別内訳				H24年度比		H24年度比			
電 気	使用量 kwh	8,226,157.0	7,900,852.9	96.0%	7,880,266.0	98.0%	73.3%		
	温室効果ガス排出量 t-CO ₂	3,858.1	3,705.5		3,782.5				
A重油	使用量 ℓ	236,000.0	224,206.6	95.0%	250,000.0	105.9%	13.1%		
	温室効果ガス排出量 t-CO ₂	639.6	607.6		677.5				
LPガス	使用量 m ³	136,654.8	136,654.8	100.0%	128,498.1	94.0%	7.5%		
	温室効果ガス排出量 t-CO ₂	410.0	410.0		385.5				
ガソリン	使用量 ℓ	43,726.5	40,180.9	92.0%	38,364.4	87.8%	1.7%		
	温室効果ガス排出量 t-CO ₂	101.4	93.3		89.1				
軽油	使用量 ℓ	47,793.2	44,711.7	93.6%	45,817.4	95.9%	2.3%		
	温室効果ガス排出量 t-CO ₂	125.2	117.1		120.0				
灯油	使用量 ℓ	42,860.0	42,860.0	100.0%	42,761.0	99.7%	2.1%		
	温室効果ガス排出量 t-CO ₂	106.7	106.7		106.4				

※ 温室効果ガス排出量の算出に用いる電気の排出係数は、中部電力で計算。